

# 殿村遺跡の発掘

第6次発掘調査・平成26年12月・松本市教育委員会

## 1 殿村遺跡とは？

平成20年に学校建設にともなって発掘が行われ、室町時代（15世紀）から戦国時代（16世紀）にわたる、大規模な造成の跡が見つかりました。

盛り土の厚さが最大2mにも達する造成跡からは、石積み（石垣）、建物の礎石や堀の基礎、高級な陶磁器や茶道具、下駄や漆器などの木製品が多数見つかりました。

これらの成果は、庶民が暮らした村ではなく、多数の労働力を結集できた権力者や、特定の階層の人物が活動をした、重要な施設があったことを示しています。

いまのところ、遺構や遺物の様子からみて、宗教的な施設、おそらくお寺の跡である可能性が高いと考えられますが、まだはっきりとは解明できていません。

一方、「殿村」の地には、中世に会田盆地を治めた会田氏の館があったと伝えられており、遺跡と会田氏の関係も注目されます。

## 2 遺跡の現状保存とは？現在行っている発掘の目的は？

平成20年の発掘は、学校の建設でやむを得ず遺跡が破壊される部分を事前に発掘し、写真や図面による記録を残そうとするものでした。（「記録保存」といいます。）

相次ぐ重要な発見により、平成21年に四賀地区の皆さんからの要望を受け、学校建設予定地が変更されました。これにより、見つかった遺構は将来にわたって開発などの破壊を受けることなく、そのまま保存されることになりました。（「現地保存」といいます。）

## 3 今回の発掘の目的は？

最初の発掘では、遺跡がいつ、誰によって、何のために造成が行われたのか？全体構造はどうなっていたのか？などの点は十分明らかにできませんでした。

そこで私たちは、これらの点を明らかにして、将来的な史跡整備に生かすため、平成22年から28年まで、遺跡の広い範囲で発掘を実施することになりました。

ところで、私たちが現在行っている発掘も、遺跡の破壊行為のひとつに他なりません。したがって、私たちは、現地保存された遺跡をできるだけ壊さないよう、明確な目的のもと、慎重に発掘を進めなくてはなりません。

今回は、以下の目的のもとに、発掘地点をしぼって発掘をしています。

- (1) 1次調査A区で見つかった、石積みを伴う造成跡の外縁部がどのような構造をしていたかを探る（南東部：6A1トレンチ、北西部：6A2トレンチ）
- (2) 1次調査地（旧会田中校庭）の北側、廣田寺にかけての一角にも中世の造成跡が存在したかを確認する（6D1・2トレンチ）

## 4 今回の発掘のおもな成果は？

### (1) 廣田寺に近い地点にも造成された平場が存在した

1次調査A区で見つかった石積みを伴う平場跡の北、約170mの地点にある畑から、今

から500年以上前の室町時代に造成された平場跡が見つかりました（6D2トレンチ）。

平場は南側の縁を石積みや石列で護岸し、拡張によって4回にわたり造り替えられていたことがわかりました。そのうち、3回目に造られた石積み（石積G）は残りが良く、自然石を3段に積んでいる様子わかります。

平場の上からは、建物の一部とみられる柱穴や炉の跡、溝の跡が見つっています。また、出土遺物は大変わずかですが、瀬戸産の陶器の特徴から、15世紀から16世紀にかけて営みが行われたと考えられ、1次調査地点の平場跡と同時期に存在していたことは間違いありません。なお、さらに北側の6D1トレンチでは造成跡が見られないため、6D2トレンチの平場跡が旧会田小学校敷地から連続する造成跡群の北端と考えられます。

### (2) 1次調査で見つかった平場の北西側の様子が見えてきた

6A2トレンチでは、1次調査で確認された平場の北西隅の状況がわかりました。この周辺は元々の斜面を削って平らにしており、盛り土はほとんど見られません。平場上からは建物や柵の一部と考えられる柱穴や、在地産土器の皿や瀬戸産陶器のおろし皿などが見つかった用途不明の長方形の穴などが見つかりました。

### (3) まとめ

発掘とともに進めてきた古文書や絵図の調査から、6D2トレンチから広田寺にかけての一角はかつて「ゑげ」と呼ばれていたことがわかりました。会田の堀内家に伝わる天正9年（1581）の文書には、これまで所在がまったくわかっていない「ゑげ寺」という寺が記載されており、関連が注目されます。また、同文書には長安寺や補陀寺などの寺も登場し、殿村遺跡は中世のお寺がひしめき合う真ただ中であつた遺跡ということがわかります。

おそらく、これまで見つかった石積みや造成跡は、これらの寺院と密接な関わりがあつたのではないのでしょうか？また一方で、会田氏館跡がどこにあつたのか、まだまだ解き明かされない謎が多く残されています。

## 5 第6次発掘調査データ

### (1) 調査期間・調査面積

8月18日～12月19日（予定） 194㎡

### (2) 6A1トレンチ（10㎡）

発見遺構 造成跡、土塁、柱穴など（いずれも中世）

出土遺物 土器（皿・内耳鍋）、陶器（中国産天目茶碗）など（いずれも中世）

### (3) 6A2トレンチ（78㎡）

発見遺構 造成跡、柵跡ほか柱穴多数、土坑（用途不明の穴）ほか（いずれも中世）

出土遺物 土器（皿・内耳鍋）、陶器（瀬戸産おろし皿）、銭など中世の遺物

### (4) 6D1トレンチ（41㎡）

発見遺構 柱穴（中世）

出土遺物 土器（皿・内耳鍋）

### (5) 6D2トレンチ（65㎡）

発見遺構 造成跡、石積・石列、柱穴（建物跡）、炉跡、土坑、溝状遺構

出土遺物 土器（皿・内耳鍋・鉢）、陶器（瀬戸産皿・天目茶碗）、磁器（中国産青磁）、銭

殿村遺跡の公式情報はこちらから！  
（松本市公式ホームページ）

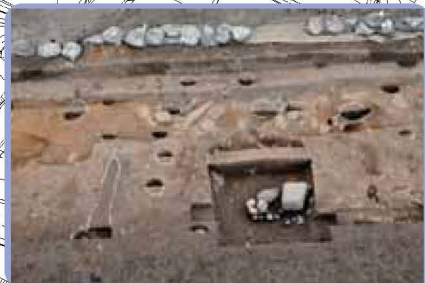


<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/>  
TOP - 松本の魅力 - 文化財

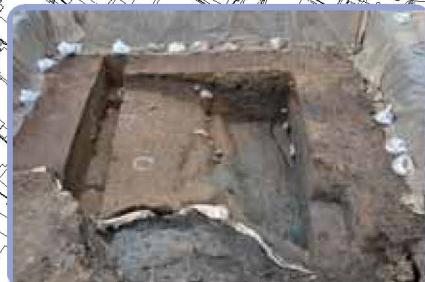




殿村遺跡第6次調査の成果



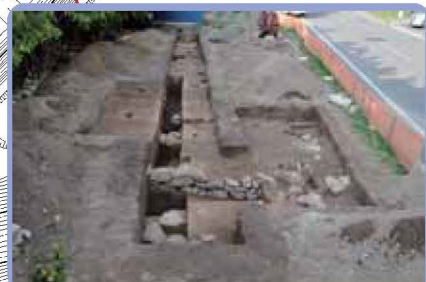
柵・土坑など中世の遺構



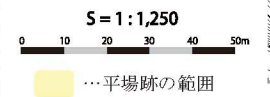
中世の土塁



内耳鍋の破片が出土した柱穴



石積みを伴う中世の造成跡



廣田寺

字廻げ

6D1トレンチ H26)

6D2トレンチ H26)

市営住宅

市営住宅

造成面推定範囲

Gトレンチ

Hトレンチ

6A2トレンチ H26)

6A1トレンチ H26)

Dトレンチ

1面造成段階の切土ライン

1次調査A区

2次調査B区

ゲートボール場

古薬跡

補陀寺跡

会田中学校旧校舎

ゲートボール場

会田中学校旧校舎

5B2トレンチ H25)

5B3トレンチ H25)

5B1トレンチ H25)

2C1トレンチ H22)

2C2トレンチ H24)

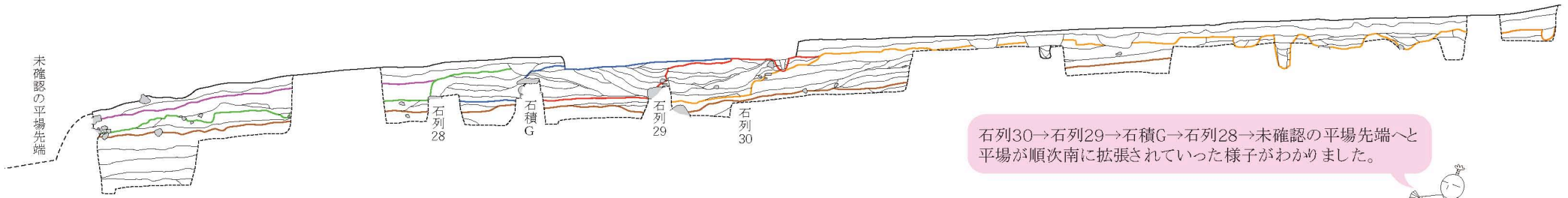
長安寺

会田中学校旧校舎

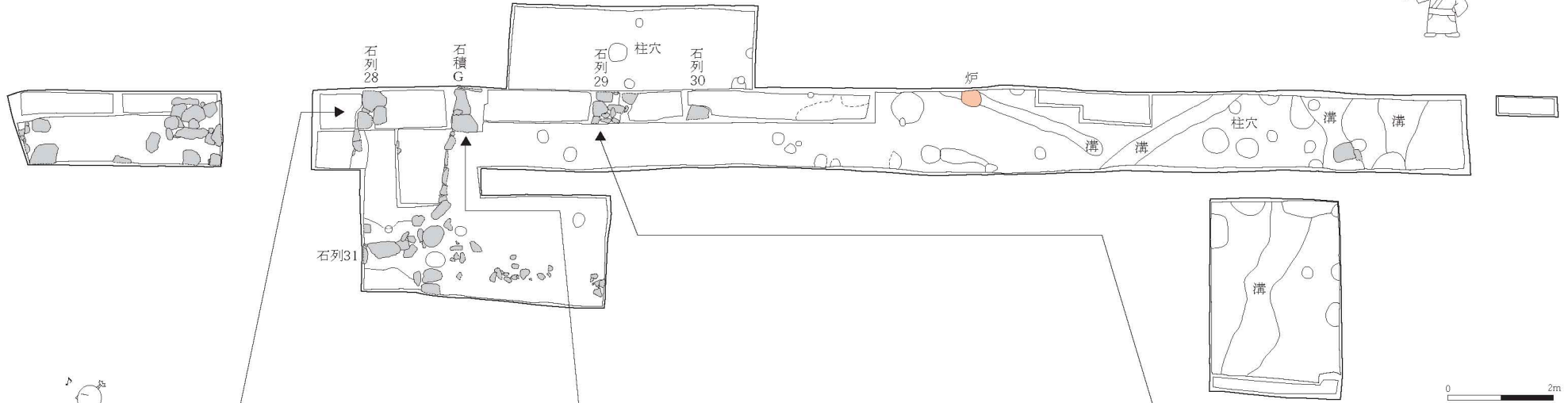
ゲートボール場

会田中学校旧校舎

善光寺街道(会田宿・仲町)



石列30→石列29→石積G→石列28→未確認の平場先端へと平場が順次南に拡張されていった様子がわかりました。



石積みと石列



石積みGと盛土の様子



石列29と盛土の様子

